

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!

# 三里塚の地元 二区 小川国彦候補の当選をかちとる!

## 総選挙闘争の勝利をもって、 10・21三里塚・ジェット増送阻止へ!

一〇月七日に投票が行われた総選挙は自民党の大敗北、民社党、共産党の議席増という結果で終わった。われわれは、この総選挙の結果、自民党が無所属当選者をかき集めてもやっとな半数を越えないうちにという危機の中で焦り、凶暴化し反動化すること、いわゆる「中道の躍進」にあおられた労働運動の右傾化策動がますます強まることを自覚し、さし迫った「10・21三里塚・ジェット」闘争を闘い抜き、二期工事粉砕・ジェット増送拒否を突破口に、労働大改革、戦闘的労働運動の再生へ向けて、断固闘い抜き決意と組織体制を、さらに強固にうち固めてゆかなければならぬ。

### 一区・木原、四区・新村候補も勝利!

今次総選挙闘争における動労千葉の闘いは、社会党、県労連の一翼を担い、各地区労・地区選対の一員として連日最大限の取り組みをもって闘い抜かれた。

県内において、自民党の金権選挙と中道各党、共産党の挟撃を受けた社会党の危機をはね返すべく、中江社会党県本組織局長、関川委員長を先頭に、連日奮闘する動労千葉の闘いは、全国的な退潮の中で社会党が県下で前回と同じ三議席をかちとる大きな原動力となったのである。

特に、三里塚の地元、千葉県二区において、自民党の五人の金権候補者の凄まじい攻撃に対し、唯一、三里塚空港反対を叫んで立候補した社会党・小川国彦候補の闘いは、動労千葉の反合・三里塚ジェット闘争の第一波闘争にも位置づけられる闘いであり、三里塚・芝山連合空港反対同盟とともに地元・成田支部を中心とした動労千葉の総力を傾注した闘いが展開された。とりわけ追い込みの段階で千葉運転区、津田沼支部からの応援も含め、四街道、成田地区を中心にさまざまの決起をもって闘い抜いたことは、四街道地区においてめざましい票の伸びが見られたことに端的に示されているように、小川候補の当選に大きく貢献するものであった。

### 社会党の勝利に大きく貢献した動労千葉の闘い!

今回の総選挙闘争においては、動労千葉・各支部が三里塚の地元・二区において小川候補を当選させるために奮闘したのをはじめ、各地区において、まじめに誠実に、そして粘り強い取り組みをもって社会党、県労連をはじめとする労働者・人民との相互信頼・連帯を一層強め、動労全国の良心的、戦闘的組合員も同様の闘いを展開したとことと比較し、「本部」反動暴力集団が、東京九区から立候補した唯一の動労OB惣田清一氏に対し、

全くおさなりの取り組みだけで、前回の約半分の得票しか集められず社会党や総評からヒンシュクをかっていることに端的に示されるように「労働者・人民から相手にされない」「動労革マル」の定評をさらに強めたことは対照的である。

### 反動暴力集団は総選挙放棄!

「本部」反動暴力集団はこの総選挙闘争中においても、連日、組織破壊行動を行ってきたが、動労千葉組合員から「千葉へ来るヒマがあったら選挙闘争をまじめにやれ」「千葉県の社会党候補を推薦しないのはなぜだ」と追及されて言葉もない状況であった。

また「本部」反動集団は革マルスパイ・島田に「社会党協会派」を名乗らせて、過去一度も選挙動員に出たこともないのに、今回に限りシャシャリ出るといふ行動をとらせ、何とか動労千葉と社会党、県労連の共闘関係を悪化させようと策動したが、当の島田が消耗し切っており、怒りの糾弾の前になす術もなく逃げ出すありさまであった。この総選挙闘争の勝利を二期工事粉砕、ジェット増送阻止に結びつけ、「10・21三里塚ジェット闘争」へさらに強固な闘いを構築してゆこう。

### テニス大会 盛況に南かる!

動労千葉サークル協主催のテニス大会は10月9日10時より白子町・カネイ荘テニスコートで各支部から54名が参加して開催された。成績は次の通りである。

- 優勝 小島・石井 (津田沼)
- 準 " 田島・丸 (幕張・勝浦)
- 3位 武井・茅野 (新小岩)
- " 平野・古川 (津田沼)
- 敢闘賞 西脇 (新小岩)
- 阿津 (幕張)
- 土屋 (千転)
- 篠宮 (勝浦)

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!